



警察からのお知らせ

水難事故にご注意を!!

令和5年6月

栃木警察署

栃木県内の水難事故発生状況

～令和4年中の水難事故発生状況～

- 令和4年中は、11件13人（うち6人死亡）の水難事故が発生しました。
- 内訳は、発生場所は、11件13人とも全て河川です。行為別は、魚とり・釣りが8件9人と半数以上を占めます。



～夏期における水難事故の特徴～

- 夏の暑い時期は水に親しむ機会が増えるため、河川での魚釣りや水遊び中の事故が多発する傾向にあります。
- 上流で大雨が降ると、晴れている下流で急激に増水することがあります。積乱雲が見える、雷鳴が聞こえる場合などは、気象情報などを確認し、付近の天気や川の水位に注意しましょう。

水難事故を防止するポイント

～小学生以下の子供に対する注意～

- 保護者が目を離した際に発生しています。
- あらかじめ水辺で遊ぶ際の危険性について、分かりやすく話しておきましょう。遊ばせる際は、常に目を離さないようにしましょう。



～中学生や高校生に対する注意～

- 友達同士で川への飛び込みや、川を泳いで渡ろうとして中洲までは何とか辿り着いたものの、岸に戻れなくなって中洲に取り残されたケースがあります。若さゆえの無茶をしないようご家庭で指導してください。

～魚とりや釣りをされる方に対する注意～

- 体調が優れないときは、川に入るのを控えましょう。
- 入水の際は、ライフジャケットや川釣り用の滑りにくい靴を着用し、もしもの時は釣り竿を手放し、命を守ることを最優先に行動しましょう。

～飲酒後の水遊びは厳禁～

- アルコールは、判断力、運動能力を低下させます。バーベキューなどで飲酒をした際は、川に入るのはやめましょう。

